

1 はじめに

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策で運動会の縮小や陸上記録会、市内音楽会の中止とあらゆる学校行事や特別活動の実施が制限されるようになった。本校もその影響を受け、新型コロナウイルス感染症以前に実施していた縦割り班活動も当面の間見合わせとなった。

しかし、2023年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類に移行されたことを受けて、児童達が望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てることと位置付けて、2024年度から毎週火曜日に導入したロング昼休みを活用した縦割り班活動を復活させることになった。

新型コロナウイルス感染症流行以前のものではなく、新たな本校の縦割り班活動を一から構築することになった。

2 縦割り班活動までの流れ

(1) 班編成について

(ア) 全校児童 455 名を 16 班に分け、各担任(6 学年から)が作成した名簿に記入する。

※この時に兄弟関係がかぶらないように配慮する。

(イ) 班の名簿が決まったら、担当を生徒指導の観点に配慮をしながら選定する。

(ウ) 班一覧表を昇降口に掲示し、児童への周知を図る。

(2) 班活動の計画と顔合わせ

(ア) 各班は担当の先生の教室に集まり、班長、副班長を選定し活動計画を立てる。

※6 年生は 1 年生を 5 年生は 2 年生を班の担当が教室に迎えに行く。

(イ) 各班長は活動計画書を作成し、担当の先生からサインをもらい特活担当に提出する。

(ウ) 特活主任が各班の活動計画書を集計し、班紹介もかねて昇降口に一覧表を掲示する。

(3) 班長・副班長会議の実施

(ア) 縦割り班活動前日に各班の班長・副班長を集めて、当日の確認を行う。

(4) 縦割り班活動当日

(ア) 3 学年以上の児童は、掲示してある一覧表を確認して集合場所に向かう。

※5、6 年生は顔合わせ時同様 1、2 年生を教室に迎えに行く。

(イ) 班全員が揃ったら活動を開始する。

※担当の先生は安全面に配慮しながら対応する。

3 成果と課題

約 4 年ぶりに実施した縦割り班活動であったが、以下の成果と課題が見られた。

まず、成果は異学年交流を通して、高学年が中心となって活動の計画から実施まで行うことができたことである。また、高学年が積極的に低学年の面倒をみたり、サポートしたりする姿が印象的であった。教師の指示によるものではなく、児童が主体的に取り組むことができていたので、実践テーマに沿った活動ができていたと考える。

課題は、暑さ対策や行事等の理由により、定期的に実施できなかったことである。今回は約 4 年ぶりの実施で手探りのところもあったので、次年度についてはあらかじめ年間計画に活動日を入れておくなど、計画的に実施できるようにする。